

あさがお通信

第十四号



二〇〇八年 十月一日 発行
発行 大津市浜大津三二一四
特定非営利活動法人あさがお
発行人 鎌田 昭二郎

高齢者虐待防止セミナーを

開催しました。

7月18日、「ワボしが21にて使ってみよう！あなたの財産！あなたの生活！」をテーマに、高齢者虐待防止セミナーを開催しました。おかげさまで、定員200名を大幅に超えるご参加をいただき、大盛況のうちを終えることができました。

セミナー前半の基調講演では、高齢者の財産管理、成年後見制度、相続遺言などが専門の、中山法律事務所・中山二基子弁護士

をお迎えし、「あなたも今日から老いじたく」と題し、ご講演をいただきました。老後の不安やトラブルを解



消し、最後まで自分らしく生きるために成年後見制度をどのように活用するかなど、実際の事例を基に、わかりやすくお話いただきました。

後半は「成年後見の果せる役割」と題し、

中山先生の進行でシンポジウムを開催いたしました。

シンポジストには、民生委員児童委員、地域包括支援センター、ぱあとなあ（社会福祉士会）のそれぞれの立場から、梅影宏氏、馬淵仁美氏、中原一隆氏に、虐待や成年後見制度にかかわる事例の報告をしていただきました。虐待事例にかかわる困難さや、成年後見制度に結び付けるまでの関わり、第三者後見人としての実際の活動など、貴重な報告をいただきました。

会場からの質問や、具体的な事例をもっと知りたいなどのアンケート結果から、参加いただいた方々の、虐待や成年後見制度に対する関心の高さも改めて感じることができました。

ご参加下さった皆様に、重ねて御礼申し上げます。



地域支援員養成専門講座 開催中！

昨年の地域支援員基礎講座に引き続き、バージョンアップした内容で6月10日から11月11日まで地域支援員専門講座を開催しています。受講者は昨年の基礎講座修了者のうち9名の方で、専門家の先生方を講師にお迎えして、より専門性の高い内容となっています。座学の他に、現在は2ヶ所で現場実習を行っております。

8月19日付の毎日新聞では、当講座の実習内容が紹介されました。



・あさがお多目的ホールの紹介

相談室を改装し多目的ホールとして使用できるように致しました。イスや机を買い替えて17名の方が座れるようになりました。

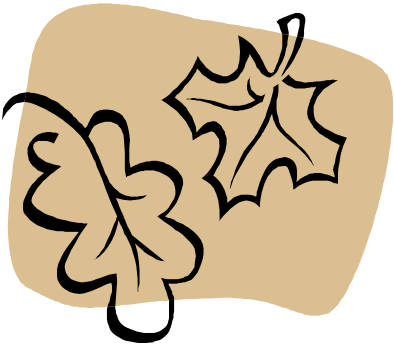


後見活動日記

『満面の笑顔』

「まあ、よってきてくれたなあ。おおきーなあってー。えらいべっぴんになってえー。」ゆきさん（仮名）は、いつも満面の笑顔で迎え入れてくれた。会うといつも大きな目をくりくりして、顔をクシャクシャにしながらい両手を広げて抱擁する。その儀式が終わると、再びクマのぬいぐるみをつかりと抱いて、何もなかったようにソファの上でくつろぐ。そんな光景が今も懐かしく残っている。

3年前までは、山の中腹の仮住まいで1人で暮らしていた。認知症がすすみ、老人保健施設に入所。後見人にあさがおが選任された。耳が聴こえにくいため、最初の頃はカタカナでの筆談で会話を行なった。いつも「オウチニカエリタイ」と言っていたが、施設での生活は、1人ぼっちでなく、みんながいて楽しそうだった。



申し込んでいたグループホームが空いて、入所することになった。当日も朝から「おうちに帰る。」と言っていた。後見人の車に乗って、ホームに向かう途中も「おうちに帰るの?」と言い続けた。内心、ときどきし

ながら運転した。ホームに着くと、職員が「ゆきさん、お帰りなさい。」と、満面の笑顔で迎え入れてくれた。ゆきさんは何の抵抗もなく、「ただいまあー。」と中に入ってしまった。

借家を引き払った。関係していたケアマネージャーさんやヘルパーさんと一緒に何度も家の中を見に行き、ホームに持っていくもの、処分するものを悩みながらより分けた。お金があまりなかったため、あるお寺さんがお正念抜きや仏壇や位牌の引き取りを無償でして下さった。その後、預貯金がなくなり、ホームはゆきさんの収入の範囲内の利用料金で継続して引き受けてくれた。

ゆきさんの満面の笑顔は、周りのあたたかい思いやりに触れるにつれ、さらに磨きがかかっていくように思えた。「ここが我が家」と思っていたホームで、みんなに看とられ、静かに最期を迎えられたのは、入所2年後だった。

後見報酬が決定した。2年間で1万円余り、月当たり450円だ……。こんなこともあるさと、お世話になったお寺さんやグループホーム、ケアマネージャーさん、ヘルパーさん、民生委員さんの顔を思い浮かべ、ゆきさんの代わりに手を合わせ、後見人として感謝しながら、また奮起を取り戻し、あの「満面の笑顔」を明日の力に変えて、あさがおは歩み続けています。



書籍の紹介



閉鎖病棟
帯木蓮生 / 著
新潮文庫



専門職後見人と身上監護
上山泰 / 著
民事法研究会



認知症の医療とケア
藤本直規 / 著
クリエイツかもがわ

今月の一句

ただ祈れ 踊り狂へど 早星

加藤風信旗

お知らせ

滋賀県弁護士会高齢者・障害者権利擁護センターにおいて、「高齢者・障害者電話相談」を試験的に実施することになりました。ご本人様・関係者様問わず、法律相談であれば分野も限定しません。是非お気軽にご相談ください。